

男爵の愛した翼たち(上)

Baron Miyahara and his World of Aircraft
Civil Aircraft 1920-1945

監修 東京文化財研究所



写真集「男爵の愛した翼たち」(上)(下) (日英2国語版)

Photographic Memoir: Baron Miyahara and his World of Aircraft

監修：東京文化財研究所

発行：日本航空協会／発売：オフィス HANS

1920年代の日本の空は、自由に遊び心に溢れていた。空飛ぶ機械に魅せられた人々が、思い思いに大空に挑んだ夢と冒険の時代。本書は、まさにそうした日本の航空の黎明期に、自らも航空技術者だった男爵・宮原旭氏(1904-1983)が撮影・収集した膨大な未発表写真コレクションから、1920～1945年までの日本の民間航空機を中心に外国機を含む320余点を収めた(上)、戦前の軍用機や外国機、戦後のスポーツ航空までを収めた(下)の本邦初公開の写真集。日本の航空史始めを振り返るオリジナル写真資料として、すでに競合の時代に入っていた外国機的设计や性能を知る格好のデータベースとして、リアルタイムで写し込まれた背景からその時代を探るビジュアルな歴史遺産として、日本の近代化とその発展の一端を知る貴重な画像記録である。

「男爵の愛した翼たち」(上)

- 第1章 宮原旭とグライダー
- 第2章 伊藤音次郎と
白戸榮之介の翼
- 第3章 飛行家と飛行大会
- 第4章 黎明の翼
- 第5章 新聞社機
- 第6章 伸び行く翼



B5判 192ページ 本文2色

定価 2,940円 (本体 2,800円+税)

「男爵の愛した翼たち」(下)

- 第1章 宮原旭男爵～1945
- 第2章 欧米にて
- 第3章 陸軍の翼
- 第4章 海軍の翼
- 第5章 日本を訪れた翼たち
- 第6章 日本人による海外飛行
- 第7章 スポーツ航空の夢再び



B5判 208ページ 本文2色

定価 3,150円 (本体 3,000円+税)

この写真集に登場する主な機体

アームストロング/アプロ 504・アビアン I・IV/アンリオ HD14/アンリ・ファルマン F50・F60/石川島 KKY・R-3/一〇式/ウェストランド/乙式一型/カーチス JN-4 ジェニー/会式/川崎 KDA-3・C-5/川西 K-1・K-12/九一・九二・九三・九五式/クレム L25/グロスターG16/ゴータWD14/サルムソン 2A2/三式/シェルバ C19・C8L Mk. II/ショート 320/スタンダード H-3/白戸式/スパッド 11・13・20・33/ソッピーズ H-13/ダグラス DF-151/ダルムシュタット D18/ツポレフ ANT-3/デハビランド DH53・60・80A/ドボアチン D1C1・D7/ドルニエ/中島 AN-1/二式/ニューポール 24・81/八七・八八式/ハンドレページ W.8b/ビッカーズ 141/フィアット AS.1・TK-3・AT-2/フェアチャイルド 22/フォード・モデル 8-AT・A・トライモーター/フォッカー FIII・FVII・FVIII/フォッケウルフ A17・F19a/ブラックバーン/ブリストル 91A・91B・99/ブレゲー14/ブレリオ/ベントレーBR1/ボーイング・モデル 40・80・69B/ホーカー/ホルトン HAC 1・2/三田式/モーリス・ファルマン/モラン・ソルニエ MS30/ユンカース A50・F13・F32・K47・G24/横廠式/ロッキード・エアエクスプレス他

お支払いは郵便振替 (商品発送時に同封。払込手数料無料)、VISA/Master カード。送料は無料です。

「男爵の愛した翼たち」(上) 定価 2,940円 (2,800円+税) 好評発売中

「男爵の愛した翼たち」(下) 定価 3,150円 (3,000円+税) 8月中旬発売予定

目次 Contents

第一章 Chapter 1

宮原旭とグライダー

－スポーツ航空に情熱を捧げた一生－

Miyahara Asahi and Gliders

－A Life of Passion and Dedication to Aviation Sports

..... 藤原 洋 Hiroshi Fujiwara 4

第二章 Chapter 2

伊藤首次郎と白戸榮之介の翼

－千葉の海岸から空を征した二人－

Otojiro Ito and Einosuke Shirato

－Great Pioneers in an Age of Conquest of Skies

..... 藤田 俊夫 Toshio Fujita 46

第三章 Chapter 3

飛行家と飛行大会

－大正時代を彩った大空の競演－

Aviators and Flying Competitions

－The Colorful Sky of the Taisho Era

..... 藤田 俊夫 Toshio Fujita 84

第四章 Chapter 4

黎明の翼

－空を飛ぶ夢と情熱の黄金時代－

The Wings of Earlier Days

－An Era of Passion and Dreams about Flying

..... 藤田 俊夫 Toshio Fujita 112

第五章 Chapter 5

新聞社機

－飛行機とパイロットを自前で揃えた新聞社

Wings of Communication

－Newspaper Companies Venture into the Air

..... 藤田 俊夫 Toshio Fujita 156

第六章 Chapter 6

伸び行く翼

－困難を極めたエアラインの設立

The Growing Wings of Air Transportation

－Difficulties in Starting Airline Routes

..... 藤田 俊夫 Toshio Fujita 170

あとがき Postscript

..... 長島 宏行 Hiroyuki Nagashima 188

執筆者略歴／参考文献 189

索引 Index 190



日本グライダー倶楽部は、1931年（昭6）3月16日から2週間に渡り箱根の仙石原で滑空訓練を行った。メンバーは片岡指導員他9名。3月21日、片岡指導員は芦ノ湖の姥子寄りの坊子山からスタートし、1分20秒の滑空記録を作った。使用機は磯部式セコンダリーと思われる。同年4月、同倶楽部は組織を強化し、日本グライダー協会と改称すると共に、国際航空連盟規則に準拠した免状規定を設け、同年10月、帝国飛行協会飛行館内の国民飛行倶楽部で最初の免状授与式を行った。

Gliding instructor Kataoka and eight other members from Nippon Glider Club went for a flight training camp in Sengokubara, in the Hakone mountains. The training schedule was from 16th March 1931 and lasted two weeks. On 21st instructor Kataoka took off from Bozu mountain summit near Ubako, achieving a duration record of 1 minute 21 seconds. The Isobe Secondary Glider was used for this flight. During the next month Nippon Glider Club was re-organized into the Japan Gliding Association to establish glider pilot license regulations to meet FAI standards. The first ceremony of presenting glider pilot licenses in Japan was held in October of the same year, at the Japan Flying Club, Hiko-Kan building in Tokyo.